

神奈川県立横浜ひなたやま支援学校 第1回学校運営協議会 開催報告

本校の学校運営協議会を次のように開催しました。

名称	神奈川県立横浜ひなたやま支援学校 第1回学校運営協議会
開催日時	令和6年5月28日(火) 9時30分～11時40分
開催場所	横浜ひなたやま支援学校 ふれあいルーム
出席者	学校運営協議会委員8名 学校事務局8名
次回予定日	令和6年10月29日(火) 9時30分～12時
問合せ先	横浜ひなたやま支援学校 副校長 藤田 みゆき 電話 045-300-5611 FAX 045-303-2330
議題	令和6年度 学校運営協議会 学校評価部会 <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度グランドデザインについて ・令和6年度学校教育計画について ・令和6年度不祥事ゼロプログラムについて 切れ目ない支援部会 <ul style="list-style-type: none"> ・共生社会の実現に向けた取組について 地域防災部会 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の取組の計画について
審議(会議)経過	<p>【学校運営協議会】</p> <p>(1) 会長挨拶 障害児の入所施設や児童養護施設を持っている。法人の保育園に横浜市立特別支援学校卒業生が採用された。</p> <p>(2) 学校長挨拶 令和6年度より4年間の新たな学校教育計画をもとに進めていく。10年経過した本校を教育課程から見直しをしていく。</p> <p>(3) 自己紹介 各委員・事務局より</p> <p>(4) 高等部3年生発表 3年生の取組みの説明 修学旅行の思い出紹介</p> <p>(5) 学校評価部会 パワーポイントを使用して各グループより説明</p>

(6) 質疑応答

委員

学校は企業と違い毎年在籍者が変わる中で、4年間の目標をどのようにイメージするのか。

委員

4年間の目標の対象者にこの目標が合うかわからない部分があり、修正見直しがあるかもしれないが、学校の文化、伝統として4年間積み重ねていく。

委員

4年目の新1年生はバージョンアップされた学習内容ができるとういのではないか。

学校のランドデザインの、ウェルビーイングの多様な幸せを目指す考えはよい。その一方で普遍的な価値は忘れてはいけない。よい生き方、よき生き方、善に向かうこと、こうした普遍的な価値と、多様性を関連させてみてほしい。

委員

実習に行く機会を増やしてほしい。実習の中で肌で感じるものがある。1回目の実習の評価をもとに学校で学習を積み、2回目の実習で力を発揮できる。

委員

何を目標しているのか、何につながるのかがわかる学校評価になっているとうい。

特別支援学校よりも先に端末が配備されているので、マニュアルなどはぜひ参考にしてください。

委員

教育を評価していく難しさを感じる。毎日楽しく学校に通えることも評価として考えられる。

委員

評価することは繊細なことではあるが、適切な評価を行い、教員の専門性を高めてほしい。

委員

学校に行かない、行けないと思う子どもが少ない学校であるという印象。学校は子どもにさまざまな体験をさせてくれる場と思う。勉強だけでなく、子どもに必要な学習をさせてほしい。

	<p>(7) 不祥事ゼロプログラム説明</p> <p>(8) 切れ目ない支援部会 今年度は具体的にこのような取組みを考えていると資料を見ながら説明</p> <p>委員 共生社会の実現というテーマを、地域との連携、地域とのさまざまなつながりというところで考えていこうということだと理解できる。</p> <p>委員 昨年度の夏祭りは盛況だった。今年度も参加してほしい。マスコットキャラクターをつけた紙袋を花博に向けてつくって出すとよい。</p> <p>委員 売れたねという実感はもてる。次に向けて何が必要か、何をしたいかを考えることを大切にしている。</p> <p>委員 全部売れることは成功体験になる。</p> <p>委員 原価率を学ぶことも教育につながるのでは。</p> <p>(9) 地域防災部会 9月1日 地域防災訓練 令和7年1月16日 冬の訓練</p> <p>備蓄倉庫の消耗品を新しくすることもあり、誰がみてもわかる表示にするなど整理していく。</p> <p>(10) 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
事務連絡	<p>次回は10月29日(火)実施予定</p>